

令和6年度 延岡市立熊野江小学校 学校関係者評価書

【学校経営ビジョン】

○地域の自然・文化・人に学び、豊かな心を育む ○自ら課題に向かい、自分の考えを表現する力を育む ○自他の幸せのために行動する力を育む

4段階評価 「4」：期待を上回る 「3」：ほぼ期待通り 「2」：やや期待を下回る 「1」：改善を要する

観点	評価項目(手立て・ゴールイメージ)	評価			成果と課題	改善策	学校連携協議会委員 意見		総合評価
		児童	保護者	協働職員			委員		
学力の向上	1 主体的な学習態度の育成 (自分の言葉でまとめや振り返り、発表、ICT活用)	3.5	4.0	3.5	3.0	○児童が学習問題を把握しめて立てたり、学習を振り返り、自分なりにまとめたりすることもできるようになってきた。 ● ICTの効果的な活用が進んだが、タイピングスキルの向上が課題である。	☆ 授業でフォームボクシングを意識したタイピング練習を取り入れ、ICT活用力をさらに高める。	3.4	3.5
	2 根拠を示し、説明する授業の工夫 (自分の考えを相手に伝え表現する、新聞投稿)	4.0	4.0	3.7	3.0	○熊野江地区の調べ学習では、課題を立て調査し、内容をまとめることができた。それをふるさと祭りの舞台で発表することができ、児童の自信にならなかった。 ● 行事後に作文を書き機会は増えたが、新聞投稿をするまでに至らなかった。	☆ 新聞投稿を計画的に行い、文章の推敲の時間も設定する。児童自身が推敲できるように指導を工夫する。	3.7	
	3 基礎的基本的な学習内容の定着 (学びの定着や習熟、詩や文章の暗唱)	3.5	4.0	3.8	3.0	○始業前の朝の学習時間に、児童の苦手分野の復習問題に取り組むことで、理解が少しずつ高まっている。算数は基礎から発展問題へと取り組むことができた。 ○毎月、詩や文章の暗唱に取組み、ふるさと祭りの舞台での成果を発表することができた。	☆ 1月に実施した学力検査の結果から得点率が低い分野について、再度復習を行い、理解を深めるようにする。 ☆ 毎月の暗唱の取組も継続して実施する。	3.3	
心の教育の充実	4 自ら考え行動する態度の育成 (気持ちのよい挨拶、丁寧な言葉遣い、学校をよくする取組)	4.0	4.0	3.2	3.0	○挨拶を相手より先に行う意識が定着し、本校顕賞だけでなく、身近な方々へも進んで挨拶できている。 ●週1回実施しているグラウンドゴルフの計画や進行を児童が自主的にできるようにしたい。	☆ グラウンドゴルフの計画や進行を児童に任せ、児童が自主的に活動する手立てを講じるようにする。	3.6	3.7
	5 互いに認め合う確かな人間関係づくり (教育相談、自分に自信をもって行動、自己肯定感)	4.0	4.0	3.5	3.0	○毎月の生活アンケートや教育相談により児童の近況を把握し、人間関係づくりのサポートができた。 ○お互いの良さをカードに書いて伝え合う取組は、児童を励まし自己肯定感を高めるのに役立った。	☆ 生活アンケートや教育相談を継続する。 ☆ 心の教育に関する校内掲示を充実させていく。	3.6	
	6 地域を愛する心の育成 (ふれあい活動や栽培活動、地域の自然や文化を知る)	4.0	4.0	3.8	4.0	○毎週のグラウンドゴルフや苗植え等のふれあい活動は、地域を調べる学習にもつながり、地域への感謝の気持ちを高めることができた。 ○地域探検や海岸・神社清掃等の活動は、地域の良さを知り、地域を大切にする心の育成につながっていた。	☆ 地域の方とのふれあい活動を継続し、地域学習をさらによりよきものに高めていくように工夫や改善を図っていく。	3.9	
健康・体力の向上	7 家庭と連携した基本的な生活習慣の定着 (歯磨き指導、ゲーム・ネットの利用時間厳守)	3.0	3.5	3.6	3.0	○給食後の歯磨きや毎週火曜日のフル化物洗口を実施している。児童の虫歯はゼロである。 ○メディアコントロール週間として、メディア使用時間や寝る時刻などを決めて家庭と連携した取組を実施した。	☆ 今後も歯磨きやメディア使用時間、寝る時刻等について、取組週間を設定し家庭と連携して実施し、意識の向上を図る。	3.2	3.5
	8 命を大切にする教育活動の充実 (命を大切にする授業、定期的な避難訓練)	4.0	4.0	3.5	4.0	○不審者対応訓練や地震・津波の避難訓練を実施した。また、指定避難所の「いのちの杜」へ行き、経路や建物の確認を行った。 ●命を大切にする性教育は、学期1回ずつの実施であるが、2学期は未実施なので3学期に行う。	☆ 3学期には、地域の消防団の協力を得て火災の避難訓練を実施することができた。 ☆ 性教育授業は年度内に確実に実施し、命の大切さを学ぶ機会を確保する。	3.6	
	9 健康な体づくりと体力の向上 (昼休みや元気タイムの外遊び、食育の推奨)	4.0	3.5	3.8	4.0	○週1回の朝の運動や昼休みの時間には、持久走やわな遊び、ボール運動など様々な種目に取り組んで運動に親しむことができた。 ○畠で収穫した野菜を調理したり、それを地域の方に振る舞ったりして、野菜栽培の楽しさや調理する楽しさを味わうことができた。	☆ 少人数で楽しむ運動の工夫が必要である。 ☆ 野菜の栽培について、児童が自主的に取り組むような活動に高めていきたい。	3.8	
特色ある学校づくり	10 中学校や地域と連携した活動の工夫 (運動会、海岸清掃、グラウンドゴルフ、避難訓練等、近隣学校との集合学習、交流学習の充実)	4.0	4.0	3.8	4.0	○中学校や地域と連携した行事・活動を計画通り実施することができ、充実した活動となった。 ○浦城小、港小、島野浦学園との校外学習や集合学習を各校と連携して実施し、多くの友だちとも交流できることで有意義だった。 ○三川内小学校と合同の水泳学習では、一緒に練習することで泳ぎが上達した。	☆ 児童数が減るので、目的や活動内容を見直し、児童に合った効果的な取組を考えていく。	3.9	3.8
	11 社会教育課の「はらはらわくわくふるさと体験隊」への参加 (はらはらわくわく体験隊の活動、一緒に活動する友だちとの交流)	3.5	3.5	3.8	3.0	○「はらはらわくわくふるさと体験隊」では、自ら班長、副班長になって、その役割を意識した取組が見られた。 ○班の友だちと仲良く話したり、下級生に優しく接したりすることができます。	☆ 「はらはらわくわくふるさと体験隊」の活動に2年間参加して、地域での様々な体験活動とともに集団での学びを経験することができます。次年度の参加については、検討する。	3.8	
	12 地域への情報発信 (学校だよりの発行、ホームページの更新、地域学校協働活動推進員との連携)	3.5	4.0	3.8	4.0	○毎月の学校だより発行やホームページへの児童の取組の様子などを発信を定期的に行なった。 ○学校運営協議会で熟議を行い、子ども達のために学校と地域と一緒に見えることについて話し合うことができた。 ●地域での行事後の意見收回が十分ではなく、地域の声を反映する仕組みが構築できていない。	☆ 学校だよりやホームページへの掲載を今後も継続し、ホームページの閲覧を増やす取組を行っていく。 ☆ 地域の意見を取り入れることを地域学校協働活動推進員と連携して進めていく。	3.9	